

公益財団法人 米日カウンシル—ジャパン

U.S.-Japan Council (Japan)

2016 年度事業報告
2016 Business Report

I. 概要

公益財団法人米日カウンシル—ジャパン（以下本法人）は、第5年度の事業を終えるに至り、多岐にわたる活発でダイナミックなプログラムを通して、主たる慈善事業における目標を数多く達成し、日本における人と人とのネットワークを一層拡大し、また持続可能な組織基盤を固めることができました。

本法人が企画且つ監督し、また実施においては協働パートナーの支援を受け、多数の若者がTOMODACHI イニシアチブのプログラムを通じて米国を短期訪問しました。

また本法人は、米国人が東北地方をはじめとする日本各地を訪問するプログラムも実施しました。TOMODACHI プログラムに参加した多くの若者が、人生の転機となる経験をしたと語っています。有意義な国際交流により、参加者は多様でユニークな絆を結ぶことができ、プログラムで学んだことは、若者たちに新たな興味と内なる自信を喚起することができました。

同様に、2016年度には、スポーツ・文化・芸術分野の文化活動を通して、特に海外への渡航経験のない若い生徒に向け、米国と日本の互いの言語や文化を理解する機会を提供しました。

本法人は、より一層グローバルな視野とより強い日米間の絆を育む、革新的なリーダーシップ・プログラムの実施に引き続き力を注いできました。2016年には、教育・文化・リーダーシップの分野で、TOMODACHI プログラムを47件実施し、日米の総計1,081人の若者が参加しました。

TOMODACHI イニシアチブの活動の延長として、本法人は5,600名を超えるTOMODACHI プログラム経験者にTOMODACHI アラムナイ・プログラムを提供しています。2016年度には、32におよぶTOMODACHI アラムナイ・プログラムが実施しました。参加者482名はリーダーシップをさらに強化するために、経験やスキルを得る機会を持ちました。

また、本法人は日米関係に関心のある経済界や議会、非営利団体のリーダーなどを対象とした人々の交流も実施しました。本法人のネットワークと一般教育プログラムには、ビジネス・アドバイザリー・ボードが含まれます。そのミーティングは本年度に4回実施され、総計275名の日米のリーダーが日米関係における双方の関心事について議論をしました。

2016年3月4日に外務省と本法人が、日本政府と本法人との間でかわされた「TOMODACHI イニシアチブにおけるパートナーシップの強化に関する覚書」に署名しました。本覚書で数年前から非公式に行われていたTOMODACHI と外務省の関係が公式のものとなりました。

II. 目的

本法人は、日米関係にとって最も重要な側面である、あらゆる世代の日米の人と人とのつながりを推進し、教育、文化、経済における絆を強化して日米両国の長期にわたる友好関係を深めることを目的としています。

本法人の中核事業は、在日米国大使館との協力のもと、教育プログラム、スポーツ・音楽・芸術分野における文化交流プログラム、リーダーシッププログラムの3分野のプログラムを通して日米の次世代を育成する官民パートナーシップ、TOMODACHI イニシアチブ（TOMODACHI イニシアチブまたは TOMODACHI）の運営をすることです。

本年度は、本報告書に記載した通り、本法人が選考し出資したプログラムの運営管理を行いました。また TOMODACHI イニシアチブのいくつかは、ワシントン DC を拠点とする米国非課税団体米日カウンシル(U.S.)の支援および資金を受けて実施しています。

III. 事業

A. 慈善事業 – TOMODACHI 教育プログラム

教育プログラムは、日本と米国での体験により日米の若者が刺激を受け、成長することを目指しています。広範囲にわたる多様なプログラムを通して、TOMODACHI イニシアチブは日米の若者に教育および交流の機会を提供し、日米関係全般を強化することを目指しています。本法人が2016年度に支援したTOMODACHI 教育プログラムは以下の14件です。

TOMODACHI Honda 文化交流プログラム
TOMODACHI MUFG 国際交流プログラム
TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム
TOMODACHI UNIQLO フェロシップ
TOMODACHI インターンシップ・プログラム
TOMODACHI 草の根交流プログラム-太鼓を通じた絆
TOMODACHI CIE 日米草の根交流サミット アトランタ大会
TOMODACHI イノウエ・スカラーズプログラム
TOMODACHI セントルイス・石巻友情プログラム
TOMODACHI 南カリフォルニア・福島 ユース文化交流プログラム
TOMODACHI テイラー・アンダーソン記念基金リサーチ交換プログラム
H LAB 東北2016
TOMODACHI NAJAS 草の根交換プログラム – コロラドスプリングス・富士吉田
TOMODACHI ブリッジング・スカラーシップ

B. 慈善事業 – TOMODACHI 文化交流プログラム

文化交流プログラムは、日本人とアメリカ人がお互いの国について学び、長期にわたり、相互に関心を持続するきっかけを提供します。TOMODACHIは既存の文化交流プログラムを支援した他、新たなプログラムを東北地方や日本各地に提供しました。また、新規の革新的な活動を支援しました。本法人が2016年度に支援したTOMODACHI文化交流プログラムは以下の8件です。

TOMODACHI ゴールドマン・サックス・ミュージック・アウトリーチ・プログラム
TOMODACHI サントリー 福島未来ミュージックプログラム
TOMODACHI サントリー音楽奨学金
TOMODACHI 福島青年管弦楽団プログラム
TOMODACHI 米日ユース交流プログラム
TOMODACHI サンディエゴ/ティファナ・大船渡青少年野球交流プログラム
東北野球交流プロジェクト：Ray of Hope
TOMODACHI グローバル・クラスメート

C. 慈善事業 – TOMODACHI リーダーシップ・プログラム

TOMODACHIは、次世代を担う若きリーダーが成功し、地域社会や母国、そして世界全体に貢献するために必要なスキルと専門知識を取得するプログラムを推進します。2016年は、若手社会人ためのフェローシップならびにリーダーシップ・プログラム、および過去に実施した本プログラム参加者（アラムナイ）を対象とした、リーダーシップ向上を図る研修が実施されました。本法人が2016年度に支援したTOMODACHIリーダーシップ・プログラムは以下の25件です。

TOMODACHI アフラックプログラム
TOMODACHI 大和ハウス学生リーダーシップ会議
TOMODACHI J&J災害看護研修プログラム
TOMODACHI NGO Leadership Program supported by J.P.Morgan
TOMODACHI Microsoft iLEAP Social Innovation and Leadership Program
TOMODACHI MetLife Women's Leadership Program
TOMODACHI-Mitsui & Co. リーダーシップ・プログラム
TOMODACHI ゴールドマン・サックス女性起業家支援プログラム
TOMODACHI 世代の構築
TOMODACHI サマー2016 ソフトバンク・リーダーシップ・プログラム
TOMODACHI 東芝科学技術リーダーシップ・アカデミー
TOMODACHI 新生リーダープログラム
TOMODACHI STEM Program@Rice University
ソーシャルイノベーション・イン・シアトル (SIIS) TOMODACHI スカラーズプログラム
TOMODACHI ソーシャルアントレプレナーシップ・プログラム
TOMODACHI FIRSTプログラム
TOMODACHI アロハ・リーダーシッププログラム

TOMODACHI ダラス・仙台ヤング アンバサダーズ プログラム
TOMODACHI Lead On! Tour Japan Cities 2016プログラム
TOMODACHI女子高校生キャリアメンタリングプログラムin福島 2016
第68回日米学生会議
**米国大使館・慶応湘南藤沢キャンパス (SFC) ・TOMODACHIアントレプレナーシッ
プ・セミナー**
TOMODACHI 障がい当事者リーダー育成米国研修
TOMODACHIフォスターユース・リーダーシップ・プログラム
TOMODACHI世代グローバル・リーダーシップ・アカデミー

D. 慈善事業 – TOMODACHI アラムナイ・プログラム

TOMODACHI アラムナイ・プログラムは TOMODACHI 体験を基盤に、日米の若者たちがさら
に経験を積み、スキルを身に付け、自信をつけることによって、刺激とパワーを得て夢を
実現し、より良い世界の構築に貢献できる人材の育成を目指しています。本法人は、アラム
ナイ同士がお互いを刺激し、強固で永続的な関係を築けるように、多様な機会を提供します。

2016 年度の TOMODACHI プログラム終了時点で、TOMODACHI アラムナイの数は 5,600 人
を超えました。日本と米国の各地から参加したプログラム経験者は 14 歳から 40 歳と幅広い
年齢層となっています。プルデンシャル財団の支援で 2016 年度には 32 のプログラムが実施
され、TOMODACHI アラムナイ 482 人が以下のプログラムに参加しました。

シグネチャー・プログラム

TOMODACHI U40 サミット

米日カウンシル主催アニュアル・カンファレンス、**TOMODACHI ラウンドテーブル
地域別交流会**

革新的プログラム

TOMODACHI アラムナイ・災害復興トレーニング・プログラム

TOMODACHI アラムナイ・ラーニングジャーニー ～リーダーシップ学びの旅～

TOMODACHI 世代グローバル・リーダーシップ・アカデミー

TOMODACHI 米日ユース交流プログラム

TOMODACHI ふくしま香 Link プロジェクト

協賛活動

竹あかりプロジェクト

ジュニア・サミット in 三重

ツール・ド・東北 TOMODACHI サロン

その他 計 32 プログラム

E. 慈善事業—ネットワーキング／一般教育活動

本法人は、TOMODACHI イニシアチブ以外に日米関係の主要分野における絆を強化するため、ネットワーク構築と一般教育活動に取り組みました。

1. ビジネス・アドバイザー・ボードおよびその他のネットワーキング

米日カウンシルと経済界の絆を強化するために、2014年に設置されたビジネス・アドバイザー・ボード（BAB）が2016年度も活動を継続しました。米国と日本で功績のあるエグゼクティブリーダーがBABの指揮を取っています。2016年度にはミーティングを4回実施し、275名が参加しました。ミーティングでは、スピーカーを交えたセッションで国際・文化・ビジネスなどについて議論が行われ、また、参加メンバーにはネットワーキングの機会が提供されました。

2. 東日本大震災5周年記念イベント

3月4日に本法人は、東日本大震災から5年の節目を迎えるにあたり、レセプションを開催しました。「3.11を忘れない、5年の歩みを振り返って」というテーマの下、レセプションでは、さらなる東北の復興支援と次世代を担うリーダーの育成を発表しました。

レセプションでは、TOMODACHIの活動をパートナーとして支援している企業の方々など約200名のご出席をいただき、米日カウンシル(US)、日米両政府、企業、アラムナイの代表がスピーカーとして登壇しました。

3. 会議

a. Japanese Women's Leadership Initiative—東京サミット2016

本法人は、Japanese Women's Leadership Initiativeが10月18日に「女性のリーダーシップによる社会変革」をテーマとして開催した東京サミット2016を協賛しました。本法人のアイリーン・ヒラノ・イノウエ会長が本会議のスピーカーとして登壇しました。300名を超える参加者は、日本と米国の女性リーダーが推進する社会変革の、近年の傾向について学ぶ機会を得ました。

b. 米日カウンシル アニュアル・カンファレンス

米日カウンシル(US)との堅固な協力関係を基盤に、本法人は2016年11月13日から15日にカリフォルニア州サンタクララで開催されたアニュアル・カンファレンスに支援しました。『想像する。革新する。可能性を引き出す。～シリコンバレー

から学べること〜』というテーマの下、経済界・政府・教育・非営利団体、その他のセクターを代表する日米のリーダーが1日半にわたるカンファレンスに集い、教育的なプログラム、人と人のつながり、ネットワーキングの機会を得ました。日本からの150人以上の参加者を含む約700名がカンファレンスに参加し、TOMODACHIプログラム参加者とアラムナイから80名が出席しました。

c. World Assembly of Women (WAW!)

本法人のアイリーン・ヒラノ・イノウエ会長が日本政府に招かれ、2016年12月13日と14日に東京で開催された2016 World Assembly of Women (WAW!)に参加しました。世界各国のリーダーが招かれ、女性問題について議論をするWAW!は、「女性が輝く社会」を達成するための取り組みの一環です。アイリーン・ヒラノ・イノウエ会長は公開シンポジウムに参加するとともに、「ワークライフ・マネジメント2.0」のテーマの下で行われたハイレベル・ラウンドテーブルでラポルトゥール（報告者）を務めました。

4. シリコンバレー・ジャパン・プラットフォーム (SVJP)

シリコンバレー・ジャパン・プラットフォーム (SVJP) は、2014年に一般財団法人日本再建イニシアティブ (RJIF) と米日カウンシル (米国) がパートナーシップを結び、発足しました。SVJPのミッションは多様なプログラムを通してシリコンバレーと日本の関係を拡大し強化することです。2016年度においては、シリコンバレーで毎月「勉強会」が実施され、シリコンバレーおよび日本からスピーカーが登壇し、様々なトピックに焦点を当てました。また、SVJPは9月16日から18日にわたってナパバレーで開催されたリトリートでは、シリコンバレーで成功を収めた起業家やSVJPを支援する日本のビジネスエグゼクティブなど約60名が集いました。

5. リーダーシップ・インスティテュート／訪日プログラム

2016年度、本法人は米国からの「リーダー訪日プログラム」をサポートしました。本プログラムは日本政府および資金提供者の支援を受け、米日カウンシル (US) が組織しています。在米日系人リーダー訪日プログラムとアジア系アメリカ人リーダー訪日プログラムは毎年、実施されています。

a. 2016年日系アメリカ人リーダー訪日プログラム

本プログラムは外務省が主催しています。米日カウンシル (US) が組織し、本法人のアイリーン・ヒラノ・イノウエ会長が同行し訪日しました。2016年3月6日から12日にわたって、使節団10名が神戸と東京を訪問しました。神戸では国際交流基金日米センターと本法人の共催でシンポジウムが開催され、参加者は約100名に上りました。また、本法人は使節団と日本のリーダーとの面談を調整しました。

b. 2016年アジア系アメリカ人リーダー訪日プログラム

3年目となったアジア系アメリカ人リーダー訪日プログラムが2016年12月3日から10日にわたって実施され、参加者は京都と大阪、東京を訪問しました。アジア系アメリカ人の州議会議員6名にアイリーン・ヒラノ・イノウエ会長が同行し、一行は地方自治体や政府、経済界のリーダーと面談しました。また、日本文化も体験しました。笹川平和財団が本プログラムの資金を提供し、公開シンポジウム、レセプションが12月8日に実施されました。本法人は東京で各界のリーダーとの面談を調整しました。

c. リーダーシップ・インスティテュート

アイリーン・ヒラノ・イノウエ会長は、リーダーシップ・インスティテュートを設立するための事前計画を推進するために主要なリーダーや支援者にアイデアを求めています。2017年に実施される予定の試験的な活動について議論がなされました。また、2016年後半に評議員のローヤン・ドイトと理事のトッド・ガイルドが中心となりタスクフォースが設置され、2017年初頭にミーティングが開催される予定です。

6. 災害リスク減少のためのネットワーキングと教育

本法人は米日カウンシル（US）およびR3ADYアジア太平洋ネットワークと引き続き連携し、災害リスク減少のためにさらなる協力を行っています。アニュアル・カンファレンスは「災害とテクノロジー：現場からの見方」というテーマの下で開催され、災害への対応や救援のみならず、災害発生前および長期にわたる復興におけるテクノロジーの役割について議論されました。

学んだことを実践し、災害現場でトレーニングを続けるために、4月25日から27日にわたって、TOMODACHIアラムナイ5名が2016年4月16日の熊本地震で被害を受け孤立している地域を訪れ、復興に向け活動している人々を手伝いました。

IV. 統治

本法人は引き続き定款に則り評議員会および理事会を運営します。

A. 役員

理事会

アーネスト・エム・比嘉 代表理事

株式会社ヒガ・インダストリーズ代表取締役会長兼社長、ウェンディーズ・ジャパン株式会社代表取締役会長、株式会社ヒガ・インベストメンツ取締役会長、株式会社ジェーシー・コムサ取締役、新生銀行取締役

アイリーン・ヒラノ・イノウエ 執行理事、会長
米日カウンシル会長

デービッド・ニシダ 副理事長

片山隆一 内部監査役

トッド・ガイルド
マッキンゼー・アンド・カンパニー シニアアドバイザー

川原 K. ラッセル
渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 パートナー

スタン・コヤナギ
オリックス株式会社 グローバル事業本部 グローバルジェネラルカウンシル

評議員会

キャシー・松井、会長
ゴールドマン・サックス証券株式会社 副会長

ローヤン・ドイ
プルデンシャル・フィナンシャル 最高倫理責任者

ダニエル・藤井
トラスト・キャピタル株式会社 代表取締役社長

ウィリアム・アイアトン
アイアトン・エンターテイメント 代表取締役

スコット 佐藤
株式会社パソナ 代表取締役社長

B. 役員会

本法人は2016年度において理事会4回、評議員会1回を開催しました。議事は以下の通りです。

2016年3月10日 - 理事会（定足数を充たし成立）

- 第4期事業年度の監査済み事業報告書および（内閣府に提出予定の）関連事業報告書の承認。
- 第4期事業年度の貸借対照表と損益計算書(財務諸表)、財務諸表の付属明細書、財産目録の承認。
- 事業および役員の見解報告書。
- TOMODACHI イニシアチブの最新情報の報告および TOMODACHI プログラム検討委員会が推薦し選考したプログラムの承認。
- TOMODACHI プログラム検討委員会の新規メンバー選任。
- 代表理事と会長の責務の分担に関わる定款の修正（追って評議員会に提出）。
- 理事会員および評議員会員、内部監査役の選挙と再選（追って評議員会に提出）。
- 代表理事および理事会役員の見解報告書
- 定時評議委員会の日時および評議委員会における報告と承認事項の提案。

2016年3月24日 - 評議員会（書面による全員一致の同意をもって成立）

- 第5事業年度（2016年1月1日から12月31日まで）の事業計画書、予算と収支、および「資金調達および設備投資の見込み」の報告。
- TOMODACHI プログラム検討委員会によって推薦され、理事会で承認されたプログラムの報告。
- 第4期事業年度（2015年1月1日から12月31日）の事業報告書ならびに付属明細書（公益法人の書類）の承認。
- 第4期事業年度の貸借対照表、損益計算書(以下、財務諸表)、財務諸表の付属明細書、財産目録等の承認。
- 定款の修正。
- 理事・評議員・内部監査役の選挙。

2016年5月18日 - 理事会（定足数を充たし成立）

- 第5事業年度の間接事業報告書。
- TOMODACHI イニシアチブの最新情報。
- 第5事業年度の間接財務報告書。

2016年10月19日 - 理事会（定足数を充たし成立）

- 第5事業年度の間接事業報告書。
- TOMODACHI イニシアチブの最新情報。
- 第5事業年度の間接財務報告書。

2016年12月8日 - 理事会（定足数を充たし成立）

- 2016年度末の事業報告書の説明。
- TOMODACHI イニシアチブの最新情報の報告およびプログラム検討委員会からの推薦の承認。
- 第5事業年度の間接財務報告書。
- 2017年度事業計画の承認。
- 2017年度予算案の承認。
- 選考された2017年度の外部監査人の承認。
- 2017年度の「資金調達および設備投資の見込み」の承認。
- 2017年度の評議員会の開催日時・場所の決定。

C. 組織に関する最新情報

2016年12月31日付 スタッフ一覧

津田順子 – 米日カウンシル（日本）事務局長

堀田満代 – TOMODACHI イニシアチブ エクスターナル・コミュニケーションズ・ディレクター兼プログラム・マネージャー

橋本彩 – TOMODACHI イニシアチブ プログラム・マネージャー

宇多田カオル – TOMODACHI イニシアチブ アラムナイ マネージャー

アンドリア・ミラー – TOMODACHI イニシアチブ マーケティング&コミュニケーションズ マネージャー

加藤ひろみ – TOMODACHI イニシアチブ アドミニストレイティブ兼オフィス・マネージャー

ケヴィン・マッカーシ – TOMODACHI イニシアチブ Women's Leadership Program プログラム・マネージャー

高木香奈 – 米日カウンシル（日本）アドミニストレイティブアシスタント

本法人は武田薬品工業株式会社から TOMODACHI イニシアチブが活動を始めた当初より、当組織のインフラ（人事・事業費）開発のための寄付金を頂き、多大なご支援を賜っています。

本法人のオフィススペースはエボリューションジャパン株式会社の東京本社において、無料で提供されています。

D. ACCOUNTING

The U.S.-Japan Council (Japan)
Financial Results
For The Fiscal Year Ended December 31, 2016
(In Yen)

2016 Fiscal Year Budget and Results

Revenue	Budget (Yen)	Actual (Yen)
Corporate and Individual Contribution - TOMODACHI	¥511,799,960	¥558,323,882
Corporate and Individual Contribution - General Education	55,200,000	72,019,763
Interest Income	60,000	103,795
Carry Over Net Assets from Previous Year	18,000,000	0
Total Revenue	¥585,059,960	¥630,447,440
Expenses	Budget (Yen)	Actual (Yen)
Program Implementation Expenses (TOMODACHI & General)	¥407,639,960	¥467,588,369
Program Support Expenses (TOMODACHI & General)	150,732,000	127,470,679
Common Expenses		13,158,987
Total Program and Program Support Expenses	¥558,371,960	¥608,218,035
Total Net Assets, Before Other Gain/Loss	¥26,688,000	¥22,229,405
Currency Exchange Reevaluation		(4,815,456)
Beginning Net Specific Assets		¥515,790,840
Total Ending Net Specific Assets		¥533,204,789

In 2016, U.S.-Japan Council (Japan) raised significant funding to support the TOMODACHI Initiative. As illustrated above, total funds raised in 2016 was ¥558,323,882. Total contributions raised were from corporate contributions.

In addition to TOMODACHI activities, the Foundation engages in other General Education and networking activities to continue to build ties between Americans and Japanese in key areas of the relationship, with total funding in the amount of ¥72,019,763 in 2016. The U.S.-Japan Council (US) and U.S.-Japan Council (Japan) held a joint annual conference in Silicon Valley, California, USA in 2016. The total conference revenues, expenses and net proceeds were shared between the two entities

based on the ratio of revenue received and expenses paid, which were 70% (US) and 30% (Japan). These distributions were approved by both Boards of Directors.

Total TOMODACHI program implementation expenses incurred in 2016 was ¥440,587,160 compared to budget of ¥379,850,960. There will be occasions when program expenses for the year are higher than contributions recognized as revenue due to the timing of the contributions received. Contributions are recorded when received and not when implemented. Program implementation expenses paid to implementers are recorded when paid and not when incurred. Several of the TOMODACHI programs are multi-year programs.

Included in the total program support expenses above was contracting services through a Service Agreement with U.S.-Japan Council (U.S), a U.S. non-profit organization that also supports the TOMODACHI programs and activities.

Below is the Balance Sheet of the Council as of December 31, 2016.

Balance Sheet, as of December 31, 2016

Assets	Actual (Yen)
Cash - General Funds	¥62,828,741
Other Assets - Equity Funds	3,000,000
Prepaid Insurance	653,765
General Education Fund Assets	120,730,802
TOMODACHI Specific Assets	408,815,174
Fixed Assets, Net of Amortization	5,048
Total Assets	¥596,033,530
Liabilities	Actual (Yen)
Current Liabilities	
Accounts Payable	¥5,231,994
Due to USJC (US)	57,596,747
Total Current Liabilities	¥62,828,741
Net Assets	
Net Specific Assets	533,204,789
Total Liabilities and Net Assets	¥596,033,530

E. 寄付者

2016年 TOMODACHI 寄付者

アメリカン生命保険会社*
バンクオブアメリカ・グループ*
ボーイング ジャパン
株式会社三菱東京 UFJ 銀行
シェブロン
大和ハウス工業株式会社
ダウ・ケミカル日本株式会社
エクソン・モービル・ジャパン合同会社
株式会社ファミリーマート
株式会社ファーストリテイリング
ゴールドマンサックス証券株式会社
株式会社日立製作所
本田技研工業株式会社
株式会社ホテルオークラ東京
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
JP モルガン*
キッコーマン株式会社
株式会社 ローソン
メットライフ生命保険株式会社
日本マイクロソフト株式会社
三井物産株式会社
三菱商事株式会社
三菱UFJリース株式会社
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
三菱UFJニコス株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社
株式会社みずほフィナンシャルグループ
モルガン・スタンレー・ホールディングス株式会社
MUFG Union Bank, N.A.
ノースロップ・グラマン
プルデンシャル財団*
ソフトバンクグループ株式会社
住友商事株式会社
サントリーホールディングス株式会社*
武田薬品工業株式会社*
東京海上日動火災保険株式会社
株式会社東芝

トヨタ自動車株式会社
在東京米国大使館
YKK 株式会社

*寄付は前年度にされていますが、この寄付によるプログラムが 2016 年も継続されています。

2016 年 ビジネスネットワーキング／一般教育／アニュアル・カンファレンスへの寄付者

アクセンチュア株式会社
アドビシステムズ株式会社
A I G ジャパン・ホールディングス株式会社
日本アムウェイ合同会社
株式会社青山財産ネットワークス
ダウ・ケミカル日本株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社ファーストリテイリング
大塚 普門
株式会社 日立ハイテクノロジーズ
株式会社 日立物流
日本アイ・ビー・エム株式会社
日本航空株式会社
日本空港ビルディング株式会社
株式会社ジェーシー・コムサ
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
キッコーマン株式会社
KPMG ジャパン あずさ監査法人
株式会社ローソン
ミネベア株式会社 (現ミネベアミスミ株式会社)
三菱自動車工業株式会社
三井不動産株式会社
日本電気株式会社
日本電信電話株式会社
株式会社オークローンマーケティング
オグルヴィ・アンド・メイザー・ジャパン合同会社
オリックス株式会社
PAG インベストメント・マネジメント株式会社
パロアルトネットワークス株式会社
株式会社ロキテクノ
株式会社セルスフォース・ドットコム
武田薬品工業株式会社

2016年 シリコンバレー・ジャパン・プラットフォームへの寄付者

株式会社ファーストリテイリング
日本電気株式会社

2016年 寄付金以外による支援者

全日本空輸株式会社
アメリカン航空会社
エボリューションジャパン株式会社
早坂毅行政書士事務所
株式会社帝国ホテル
日本空港ビルディング株式会社
公益財団法人 公益法人協会
有限責任 あずさ監査法人
株式会社森ビルホスピタリティコーポレーション
オリック・ヘリントン・アンド・サトクリフ LLP
凸版印刷株式会社
トライコー株式会社

2016年1月1日から12月31日に寄付金または現物寄付を米日カウンシル（日本）に提供した企業・事業・個人は上記の通りです。該当する期間前の寄付情報は公益財団法人 米日カウンシルージャパンの2015年度事業報告書に記してあり、要請に応じて提出いたします。

F. 連絡先

米日カウンシルージャパン
東京都千代田区紀尾井町4-1
ニューオータニガーデンコート 12F
電話： 03-4510-3400
URL www.tomodachi.org